

発行所：コミュニティガーデン百合が丘
発行者：百合が丘広報誌担当職員



イベント特集



6周年イベント開催！



今年のイベントでは、『見やすい 分かりやすい』を目標に準備を進めてきましたので、ご利用者にとって良い記念となったと感じております。

ご利用者様のなかには、笑ったり盛り上がりだしたりで、声が枯れてしまった人もいたくらいです。ご利用者様の笑顔と「楽しかった」という一言で、練習や準備を怠らずにやってきたかいがありました。私たち職員も、とても楽しい6周年イベントとなりました。

6周年イベント担当職員：篠崎・宮内

マグロの解体ショー・昼食

毎年恒例のマグロの解体ショーは、圧巻の一言でした。

昼食は、マグロの寿司と6種の串揚げ、茶碗蒸し、海鮮汁、デザート2種と、豪華なものになりました。



布施組（太鼓）

祭用のものや有名な曲目を演奏しました。

職員が一つになって練習に励み、きずなが深まったことで達成感を味わうことができました。ご利用者様からおほめの言葉をいただけたことが嬉しかったです。



でこぼこフレンズ(劇)

有名なCMでおなじみの三太郎(桃太郎・浦島太郎・金太郎)の数十年後に同窓会を行ったという内容の劇を行いました。

初めて劇に挑戦した職員が結構いましたが、なんとか形になりました。台本を作らなかった分、個性が生かされたと思います。



Yurigaoka Art Project

ホワイトボードに貼った紙に絵の具を塗っていき、文字を浮かび上がらせた。ご利用者様には、鈴を持ってもらい、音が出ている間だけ職員が動けるという形で行いました。

「すごかった!」「今までにない出し物だった!」というお声がありました。職員も、楽しみながら行うことができました♪



It's ダークネス ～open the サンシャイン～ (ヲタ芸)

光る棒を用いて、ヲタ芸(コンサート等で聴衆が行う独特の掛け声や動きのこと)を披露しました。光る棒の動きが分かるように、会場を暗くして幻想的で激しくダンスを行いました。

また、会場を明るくしてのダンスも披露しました。皆様に楽しんでいただけた様子で、うれしかったです。



体操

三百六十五日のマーチに合わせて体幹を鍛える体操を行いました。

初めて行うものだったので緊張しましたが、動きはシンプルで覚えやすいものでしたが、ご利用者様からは「結構きつい体操だった」というお声がありました。自分たちの思いが伝わった気がしました。



料理教室

～もちもちリングドーナッツ～

当日は 12 名の方が参加しました。生地を丸める作業や、揚げて膨らんでいく様子を楽しんでいただけたと思います。

普段の料理教室に参加されていない方にも参加してもらえてよかったです。

カルチャー教室

～レジン～

キラキラでツヤツヤで、持っているだけで嬉しくなるようなものを作りたい！と考えました。

想像以上にステキなものが出来上がりました！

レジンをぷっくりさせるため、何度も重ねぬりをしたので工程が多かったのは大変でした。

ソーラン節

百合が丘のイベントの恒例となったソーラン節、今年も盛り上がりを見せてアンコールの音があがりました。

2回目の演舞では、施設長が裸足で飛び入り参加したり、職員が変わったダンスで応戦したりと一風変わったソーラン節となりました。

他にも、職員によるカラオケ大会が開催され、盛り上がりました。

出し物の順位とカラオケ大会の順位は右記の通りです。

来年の7周年記念イベントもお楽しみにお待ちください♪



出し物順位

- 1位 布施組（太鼓）
- 2位 でこぼこフレンズ（劇）
- 3位 キッチン（昼食）

職員カラオケ大会順位

- 1位 君山・布施
- 2位 石崎敦・大曾根
- 3位 菊池・舟木

編集後記

11月ともなると、冬の気配が大いに感じる事のできる季節になりました。

皆様は、冬の気配を何から感じとりますか？筆者は、空気から感じます。鼻を抜ける澄み切った凍てつく空気が、冬の訪れを伝えてくれます。また、吐き出した息が白く目に見えるようになると更に実感が湧いてきます。

こたつやストーブといった暖房機器を使うようになった、みかんや鍋が恋しくなった等、日常生活の中に、冬の風物詩ともいえる物があることで、冬を感じる方もいるのではないのでしょうか。

温かい洋服に身を包み、寒空の下を歩けば、クリスマスだ正月だと、町中がにぎやかさをまとっています。今年も何かと忙しい年の瀬がやってくるのだと思うと、時の流れの早さをひしひしと感じます。一年が過ぎ去る侘しさと同時に、新たに始まる一年に希望を託したくなります。

かじかむような寒さの到来に憂鬱になりますが、こたつにみかんを常備し、冬にしか見られない雪や霜柱といった自然現象を楽しみながら、乗り越えていきたいものです。皆様、どうぞご自愛くださいませ。

担当…石井